

第5章 今後の活動計画について

当小委員会では平成22年度では、3つのワーキンググループの活動を継続すると共に以下の活動を予定している。

1 シンポジウムの開催

平成22年7月27日(火)に土木学会講堂でシンポジウム「新しい公共、NPOそしてソーシャル・ビジネス ―その土木界における位置づけと展開―」を開催する。「新しい公共」を土木界としてどう受け止めるのか、その担い手をどう育てていくのか等について基調講演で東洋大学の根本祐二教授にお話頂き、アンカーとして土木学会の阪田憲次会長に土木学会の取り組みについてお話頂く企画である。

2 土木学会誌への投稿

土木学会誌6月号にCEレポート「わが国社会の持続的発展に対する土木界の役割」とピックアップ「成熟したシビルエンジニアの活性化に向けて ―小委員会のこれまでの活動と今後―」として掲載される予定である。

3 土木学会への提言の実現化に向けた活動

企画委員会に付託されることになった、提言の実施方策の作成にあたり、企画委員会は小委員会またはワーキンググループを作って検討するとの事であるので、当小委員会の役割り企画検討グループメンバーが参画し、今までの研究成果を反映する方向で取組んでいきたい。検討のたたき台として「成熟したシビルエンジニア活性化小委員会 平成21年度中間報告書」を企画委員会委員には配布する予定である。

4 成熟したシビルエンジニア向けの会員サービスの向上策への参加

従来抜け落ちていた成熟したシビルエンジニア(シニア技術者)向けの会員サービスの向上が必要と考えており、土木学会がシニア技術者に必要な情報発信を行うことを提案し、情報提供者として参画する方策を検討していく。

5 各ワーキンググループの活動

1)人材結合支援システム、ソーシャル・ビジネス調査研究グループでは、

- ① 人材結合支援システムについては、平成21年度で一応の成果を得て、4月には土木学会技術推進機構にシニア会員へのサービス向上策として提言する。平成22年度末には、NPO、ソーシャル・ビジネスワーキンググループの研究成果をシニア技術者へのサービスとして提供できるシステムを検討する。
- ② ソーシャル・ビジネスに関する研究を継続し、土木分野におけるソーシャル・ビジネスの展開の可能性について提案したいと考えている。

2)NPO 調査研究グループでは、NPO の連携、ネットワーク化、土木学会の支援の可能性について継続して研究し、土木学会が建設系 NPO の中間支援組織の立ち上げ、運営を支援する仕組みを提案したいと考えている。

3)役割り企画検討グループでは、成熟したシビルエンジニア向けの新規事業を創造するためのマスタープランの考え方を平成21年度に提案したが、そのブラッシュアップを図っていきたい。

これと並行して前述のように「土木学会への提言」の実現化に向けた企画委員会での検討にグループとして参画する方向で取組んでいきたい。

以上